

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞ 眼内レンズ強膜内固定に関する観察研究
＜研究機関・研究責任者名＞ 日本大学医学部附属板橋病院 眼科（研究責任者）林 孝彦
＜研究期間＞ 機関の長の初回許可日 ～ 令和 12 （西暦 2030 ）年 3月 31日
＜対象となる方＞ 西暦 2019年 9月 20日～西暦 2030年 3月 31日の期間に当院眼科で眼内レンズ強膜内固定を受けた方
＜研究の目的＞ フランジ付き強膜内固定術後の屈折誤差を2人の術者で比較し、術後の眼内レンズ傾斜や偏心に影響を与える要因を分析する。
＜研究の方法＞ 上記の定める研究期間内に当院眼科で眼内レンズ強膜内固定を施行した患者で、術後に当院眼科外来を最低でも1ヶ月通院し、適切な検査が可能であった方で下記項目の情報を集積して検討します。 ① 年齢、性別、診断名、手術眼 ② 眼軸長、角膜屈折力、術前角膜乱視、術後自覚屈折度数、術後等価球面值、屈折誤差、前房深度、眼内レンズの傾斜・偏心
＜研究に用いる試料・情報の項目＞ 診療記録から術前術後の眼球測定データを用います。
＜外部への試料・情報の提供の方法＞ データを匿名化・暗号化した上で、電子送付。
＜試料・情報の提供を開始する予定日と、提供を行う機関およびその長の氏名＞ 機関の長の許可日より 旭川医科大学眼科・准教授 横田 陽匡
＜外国にある者に試料・情報を提供する場合＞ なし
＜研究を実施する機関組織＞ 日本大学医学部附属板橋病院 眼科
＜お問い合わせ窓口＞ 日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

眼科 氏名:神足 佐和子
電話:03-3972-8111 内線:(医局)8623

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方